

看護師らの子育て応援

党愛知県議団が課題聞く
がんセンターの院内保育所で



「キッズルームバンビ」を視察する愛知県議団(左側6人)

公明党愛知県議団(小島丈幸^{代表}団長)はこのほど、愛知県がんセンター中央病院(名古屋千種区)を訪ね、今年度から設置された同病院の医師・看護職員が利用できる院内保育所「キッズルームバンビ」などを視察するとともに、看護師不足の課題などについて、関係者らと意見交換した。

院内保育所は、生後6カ月から2歳(3歳になる年度の年度末まで)を対象とし、保育時間は通常、月々土曜および祝日(日曜除く)の午前7時半から午後7時までで、夜間は金曜の午後4時から翌朝9時半まで。一時保育も利用可能。

同病院では昨年、出産・育児による看護師の休職者が50人を超え、看護師不足が院内で深刻な課題になっている。医療現場からは託児所がないとの声もあつたことから、保育所の設置計画が進められてきた。

小島団長らは「仕事と子育てを両立できる労働環境を整備することが重要だ」と語り、今後、看護師不足の対策に積極的に取り組んでいく考えを示した。